

大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント】

課程 II 演習シート①

「適切なケアマネジメント手法」大腿骨頸部骨折 I 期（病状が安定し、自宅での生活を送ることが出来る様にする時期）・II 期（病状が安定して、個別性を踏まえた生活の充足に向けた設計と、セルフマネジメントへの理解の促進を図る時期）をみていきましょう。

想定される支援内容				省察（振り返り）		連携	意向の再確認	地域課題
大項目	中項目	小項目	想定される支援内容	① 聴きもれ、確認漏れしていた、アセスメント／モニタリング（情報や視点）	② さらに深めるべき視点（具体的に）	連携する職種や社会資源等（誰にどのように）	利用者や家族等への説明と同意	利用者を通して、お住いの地域のお困りごとは？
II これまでの生活の尊重と継続の支援	II-3 家事・コミュニティでの役割の維持あるいは獲得の支援	II-3-1 喜びや楽しみ、強みを引き出し高める支援	35 喜びや楽しみ、強みを引き出し高める支援	1 日、1 週間の過ごし方は確認したが、月単位、年単位で過ごし方の情報が不足していた	モニタリングの際に月単位、年単位の過ごし方等確認する。	本人の興味関心を確認。地域資源の確認を行いマッチングしていく。地域でのイベント等民生委員に確認する。		
I 期 1 再骨折の予防								
2 骨折前の生活機能の回復								
II 期 1 再骨折の予防								<p style="text-align: right;">解決策</p> <p style="text-align: right;">お困りごとに取り組む方法は？</p>
2 セルフマネジメントへの移行								